

2022年度第1四半期 決算補足資料

2022年8月12日



2022年度 第1四半期決算のポイント

(単位：百万円)

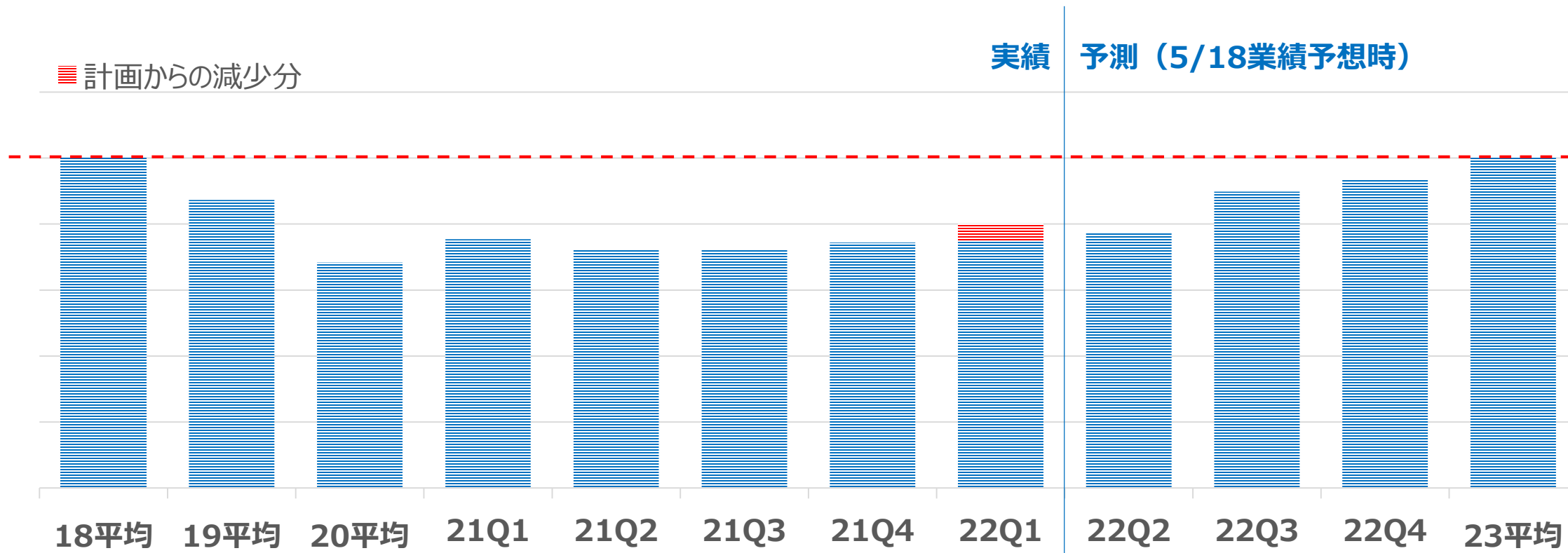
	2021年度				2022年度 第1四半期
	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	27,117	27,530	29,064	32,602	33,113
営業利益	△653	△1,290	△778	299	△ 553
経常利益	△398	△1,282	△687	335	△ 424
当期純利益	△495	△1,285	△5,037	1,628	△ 649
売上重量 (2018年度を100とした 指標)	75	72	72	74	75 (年初計画 80)

《全体感》

- 売上：円安等により売上高は前年同四半期比22.1%増。一方の販売量は中国ロックダウンによる物流の停滞、半導体不足等による自動車メーカーの生産減を受け、昨年同四半期比△1.1%の減少。計画に対しては△6.8%。
- 営業・経常利益：引き続き生産性の改善等に取り組むも半導体不足等による販売量減とエネルギー費等による4.5億円の増加が収益を圧迫
- 当期純利益：営業利益、経常利益の下振れにより純損失を計上

売上重量推移

- 自動車各社の生産計画に対し、保守的に売上重量を計画したものの、半導体不足の影響が想定よりも大きく、さらに中国ロックダウンによる物流の停滞も加わり、第1四半期の売上重量は22年度計画値に届かず利益を圧迫。



※2018年度を100とした場合の売上重量推移

ダイカスト事業

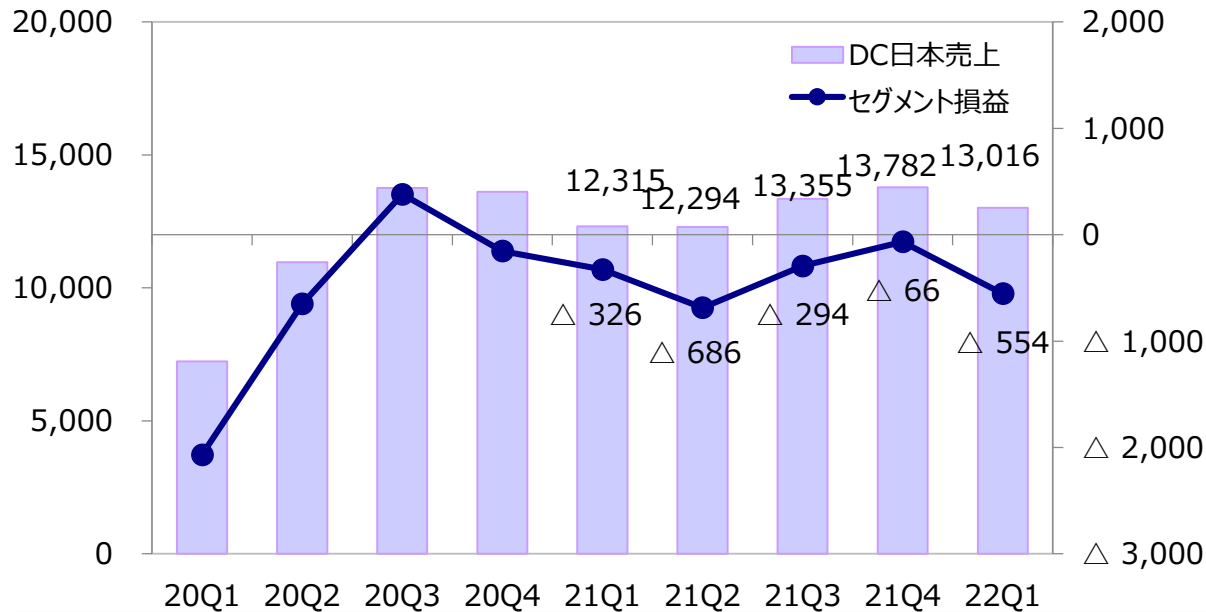
(単位：百万円)

		2021年度				2022年度 第1四半期
		1Q	2Q	3Q	4Q	
日本	売上高	12,315	12,294	13,355	13,782	13,016
	セグメント 損益	△326	△686	△294	△66	△ 554
北米	売上高	7,241	6,949	6,623	7,298	8,357
	セグメント 損益	△115	△438	△495	△48	△ 441
アジア	売上高	5,478	6,248	6,548	8,214	8,473
	セグメント 損益	△353	△290	△122	218	340

※ 北米セグメントのメキシコ工場及びアジアセグメントの中国2工場は12月決算となります。

ダイカスト日本

ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



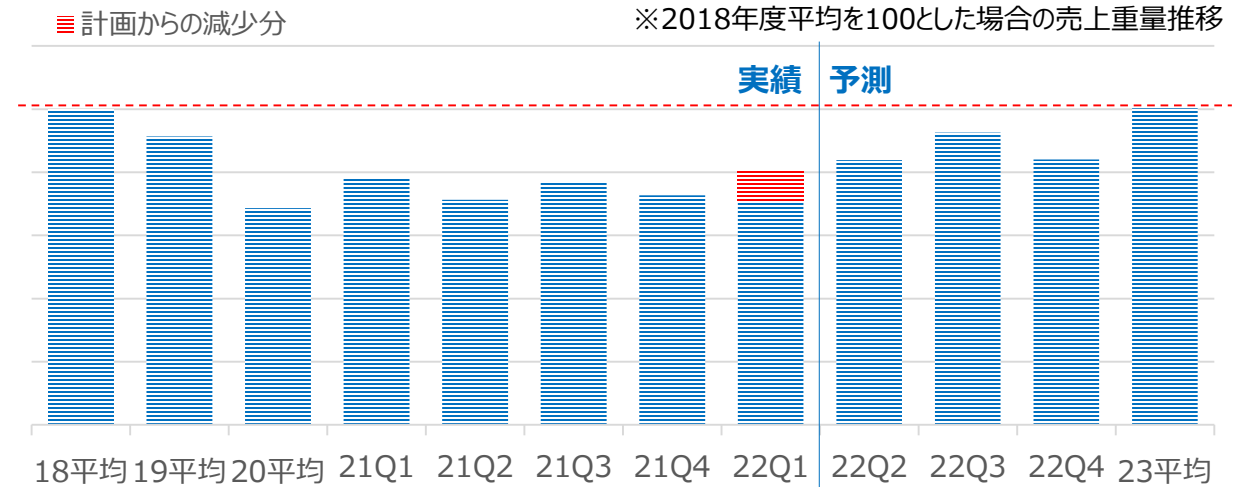
売上：7億円増（前年同四半期比5.7%増）

- アルミ地金価格の影響等により売上高は前年同四半期比増となるも、半導体不足、並びに中国ロックダウンによる物流の停滞も加わり、自動車メーカーの生産減を受け売上重量は8.7%減

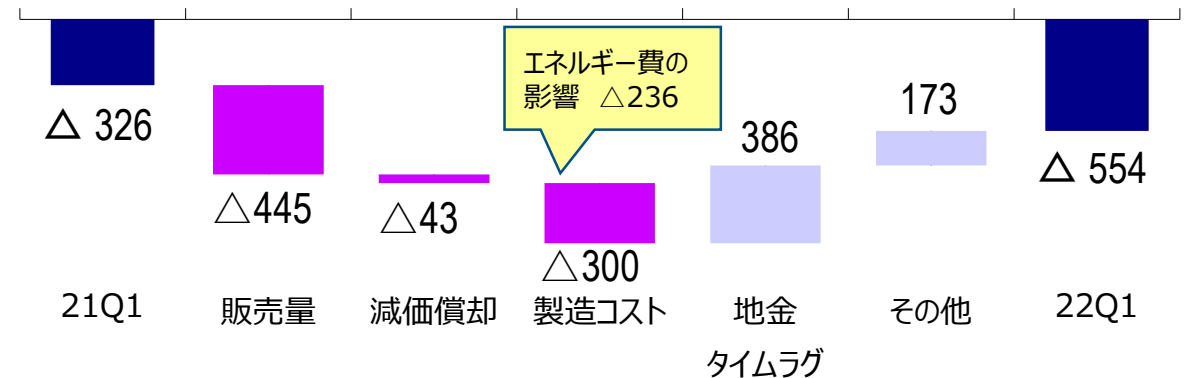
セグメント損益：2.3億円減（前年同四半期比減）

- 売上重量減、エネルギー費アップ等による製造コスト増により悪化

売上重量の推移

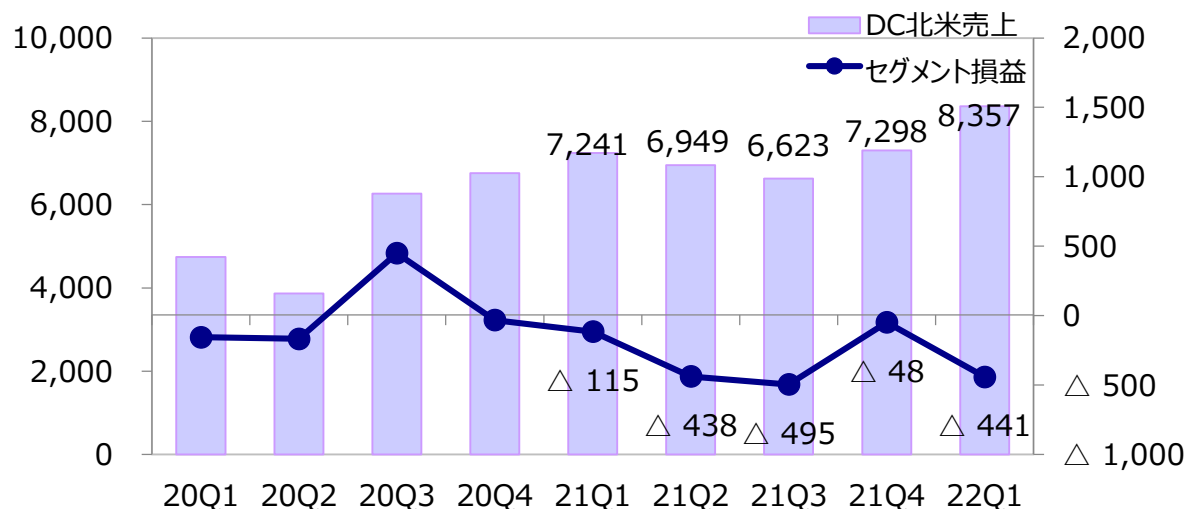


セグメント損益増減要因（単位：百万円）



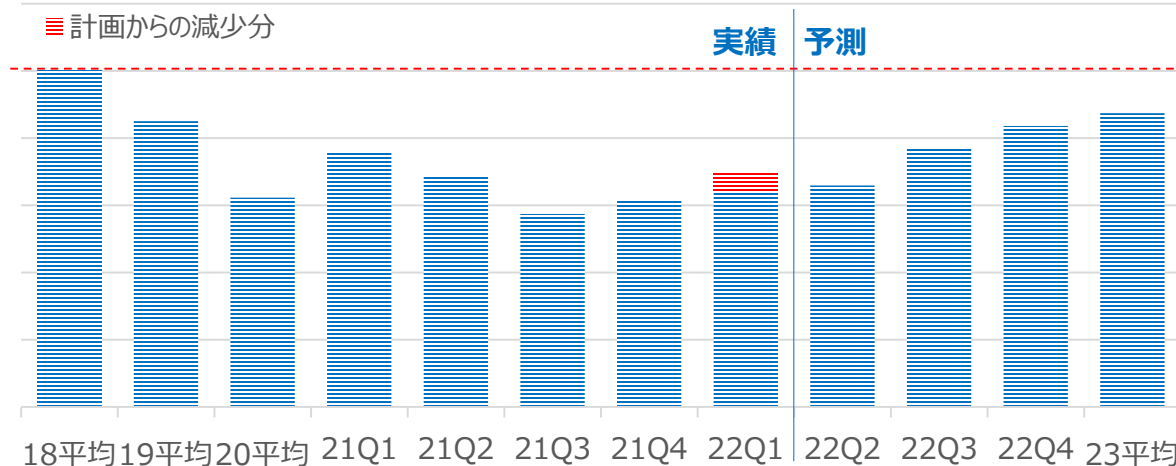
ダイカスト北米

ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）

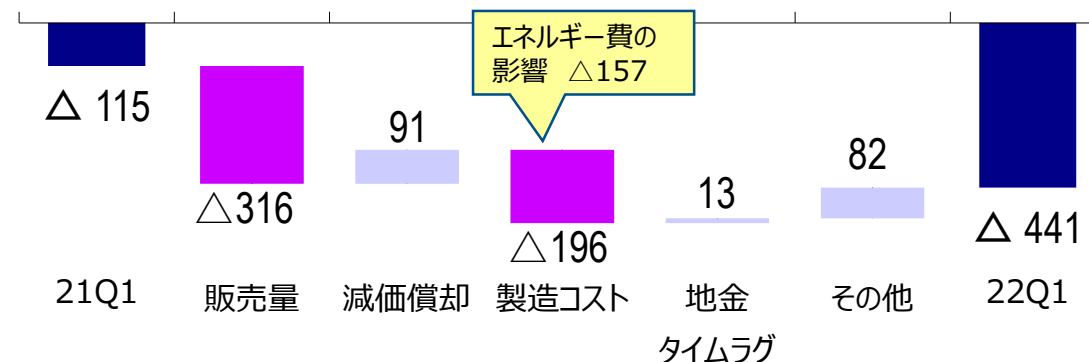


売上重量の推移

※2018年度平均を100とした場合の売上重量推移



セグメント損益増減要因（単位：百万円）



売上：11.2億円増（前年同四半期比15.4%増）

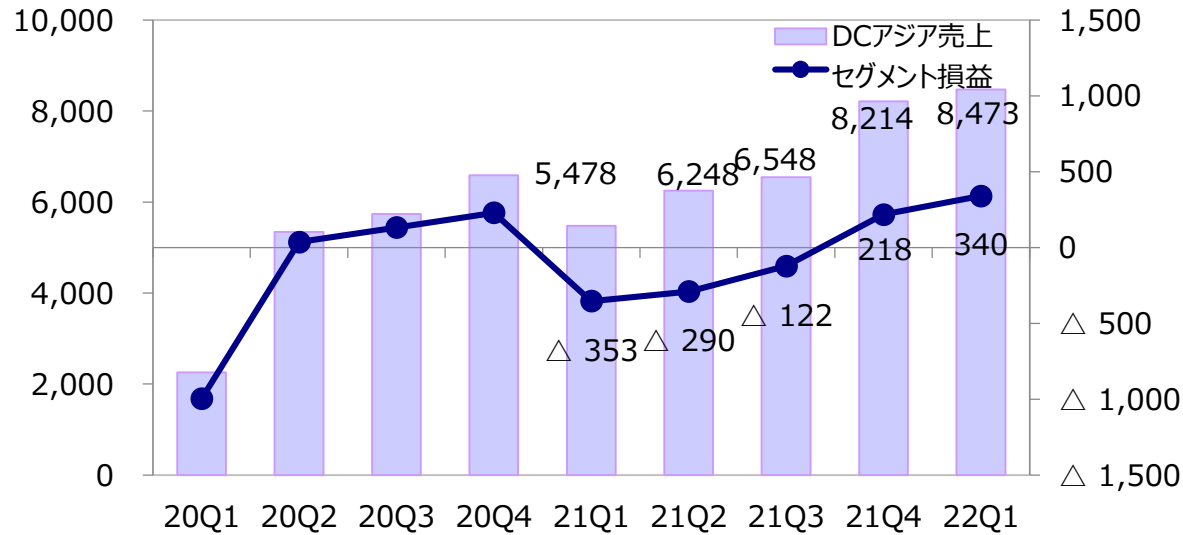
- 円安等により売上高は前年同四半期比増。半導体不足等による自動車メーカーの生産減を受け売上重量は15.4%減と大幅に減少

セグメント損益：3.3億円減（前年同四半期比減）

- 構造改革、原価低減活動効果はあるものの、売上重量減、エネルギー費アップ等による製造コスト増が収益を圧迫

ダイカストアジア

ダイカストアジア売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上：30億円増（前年同四半期比54.7%増）

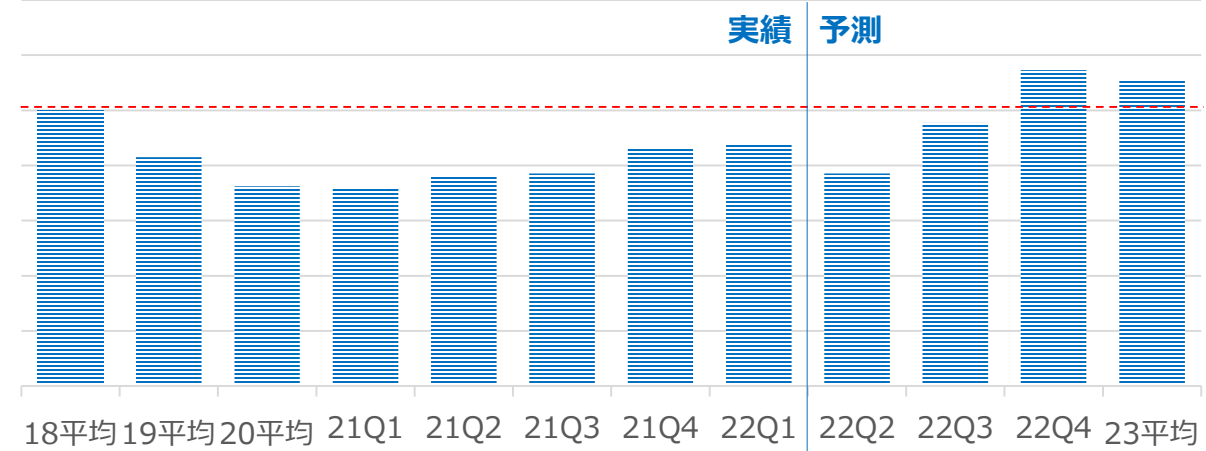
- 中国における自動車減税等による販売台数回復に伴い、中国工場の第1四半期（1月～3月）における売上重量も増加。インド工場においても売上重量が増加した結果、アジアセグメントでは対前年同期比22.5%増

セグメント損益：6.9億円増（前年同四半期比増）

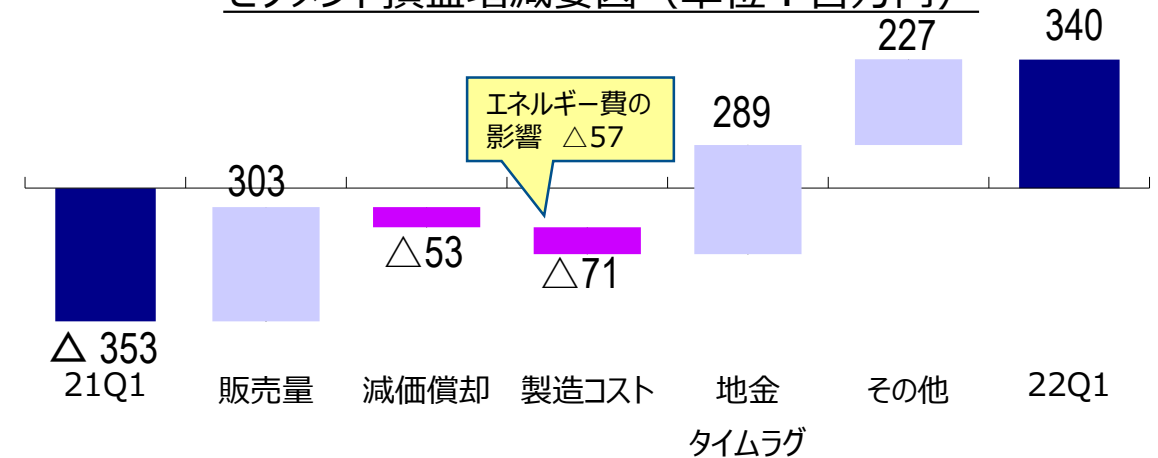
- エネルギー費アップ等による影響はあるものの、売上重量の回復に伴いセグメント利益を計上

売上重量の推移

※2018年度平均を100とした場合の売上重量推移



セグメント損益増減要因（単位：百万円）



決算期:中国12月期、インド3月期

レート (21Q1⇒22Q1) 人民元 16.32 ⇒18.44 インドルピー 1.50 ⇒1.68

アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2021年度				2022年度 第1四半期
		1Q	2Q	3Q	4Q	
アルミ ニウム 事業	売上高	1,328	1,504	1,550	2,081	2,100
	セグメント 損益	67	77	57	64	82
完成品 事業	売上高	754	535	988	1,226	1,165
	セグメント 損益	65	47	73	127	90

アルミニウム事業

- 売上：半導体不足等による自動車減産影響があるものの、売上重量は前年同四半期比2.1%増となる。アルミ地金価格の高騰もあり増収
- セグメント損益：売上高の増加等により増益

完成品事業

- 売上：主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件や通信会社のデータセンター向け物件等の受注が増加し増収
- セグメント損益：個別受注物件による変動影響はあるが安定的な利益を確保

Topics : 電動化部品搭載情報

■2022年 発売車種への主な電動化部品搭載

BEV

bZ4X

PCU系部品2点

Toyota

BEV

SOLTERRA

PCU系部品2点

Subaru

BEV

F-150 Lightning

インバーターケース

Ford

HEV

NOAH / VOXY

インバーターケース

Toyota

HEV

X-TRAIL e-POWER

DC/DCコンバータープレート

Nissan



TOYOTA bZ4X

2224中期経営計画 注力項目

期待を超える 2040

低コストで生産性の高いものづくりの確立・CO2削減活動の推進

軽量化で地球の未来に貢献する

技術探究を続け、唯一を生み出す

電動車向け部品中心の
事業ポートフォリオへの着実なシフト

需要創出技術・生産性向上技術
開発での売上高貢献

Ahrestyで良かった！を実現する

生きいきと働ける職場づくり・国内アーレスティのダイバーシティ推進

Topics : 車体部品とEV関連部品、共同開発スタート

- 車体部品メーカーの株式会社ジーテクトと車体部品、EV関連部品における共同開発を行うことに基本合意
- それぞれの技術領域の知見を補完し合い、共同開発をスタート



【調印式の様子】 右：株式会社ジーテクト 高尾 直宏 代表取締役社長



【EV化時代の車体の要求性能・機能】

- ✓ 軽量・高剛性
 - ✓ LCAにおける環境負荷低減
- ⇒アルミダイカストで新たな価値を創造へ

2224中期経営計画 注力項目

期待を超える 2040

低コストで生産性の高いものづくりの確立 ・ CO2削減活動の推進

軽量化で地球の未来に貢献する

技術探究を続け、唯一を生み出す

電動車向け部品中心の
事業ポートフォリオへの着実なシフト

需要創出技術・生産性向上技術
開発での売上高貢献

Ahrestyで良かった！を実現する

生きいきと働ける職場づくり ・ 国内アーレスティのダイバーシティ推進

Topics : 国内生産体制の再編

- 概要：東松山工場での生産を栃木工場、熊谷工場へ移管
- 目的：国内生産の効率向上、収益性向上
- 生産移管完了予定：2024年上期

東松山工場

- ✓ 特殊鑄造法（自社開発の NI 法）
- ✓ モバフロアの生産（加工工程）

栃木工場

熊谷工場



【東松山工場鳥観写真】

【国内工場の統合・再編効果】 三年間で約 10 億円

21年度 金型会社統合、加工関連会社合併、22年度 東松山工場生産移管

2224中期経営計画 注力項目

期待を超える 2040

低コストで生産性の高いものづくりの確立・CO2削減活動の推進

軽量化で地球の未来に貢献する

技術探究を続け、唯一を生み出す

電動車向け部品中心の
事業ポートフォリオへの着実なシフト

需要創出技術・生産性向上技術
開発での売上高貢献

Ahrestyで良かった！を実現する

生きいきと働ける職場づくり・国内アーレスティのダイバーシティ推進

Topics : ダイカスト展示会出展情報

■『期待を超える2040』実現に向けた取り組みとして、電動車搭載部品・車体系部品、接合要素技術等を展示し、自動車の軽量化やカーボンニュートラルにつながるアルミダイカストの可能性を提案

【2022 日本ダイカスト会議・展示会】 <https://www.j-dec.jp/2022/>

- ✓ 日時 : 2022年11月10日 (木) ~12日 (土)
- ✓ 会場 : パシフィコ横浜
- ✓ テーマ : 『期待を超える2040』~軽量化で地球の未来に貢献するアーレスティ
- ✓ 展示内容 (予定) :
 - カーボンニュートラルへの取り組み
 - 電動車搭載部品、車体系部品展示
 - 接合要素技術展示によるアルミダイカストの可能性の提案
 - ダイカスト周辺設備 (『J E C S S - M 1 0』の動態展示によるデモンストレーション、ジェットクーラー、クールチューブなど)



【展示ブースイメージ】

この度、関係会社の決算事務作業の遅れに伴い2022年度第1四半期決算発表日を
8月9日から8月12日に変更致しました。
決算発表が遅れ、ご迷惑、ご心配をおかけ致しましたことをお詫び申し上げます。



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664

E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com

URL: <https://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。